

第1回検討会での検討結果（要旨）

1. 標準画像の必要要件に関する検討結果（要旨）

第1回検討会では、候補画像の収集と選定を行った厚生労働科学研究（注）の経過をふまえた議論を行い、下記4点を考慮することとした。

- (1) じん肺として典型的な所見を示し、読影に影響をきたす他の所見の混在がないこと。
- (2) 同一人における胸部エックス線写真以外の情報（粉じん作業歴、胸部CT写真等）を勘案し、じん肺の程度として妥当と認められること。
- (3) 医師間で読影結果のばらつきが小さいこと。
- (4) 既存の標準フィルムとの整合性が確保できること。

2. 候補画像の個別検討結果（要旨）

第1回検討会では、厚生労働科学研究で選定された候補画像28症例について、1. で設定した要件に照らし合わせ、標準として用いることの適否を検討した。

また、再検討を要する症例、他施設から新たに提出される症例については、第2回検討会において検討することとした。

注) 平成19～21年度厚生労働科学研究「じん肺健康診断におけるエックス線デジタル撮影画像の活用に関する研究」（主任研究者 村田喜代史）、
ならびに平成22年度厚生労働科学研究「じん肺健康診断等におけるデジタル画像の標準化ならびにモニター診断および比較読影方法の確立に関する研究」（主任研究者 村田喜代史）を指す。